別記様式第1号（別紙2－1）

東京都エコ農産物認証申請書（栽培計画書）

（記入例）

【化学合成農薬削減技術】

① 温湯種子消毒技術　②機械除草技術
③ 除草用動物利用技術　④生物農薬利用技術
⑤ 対抗植物利用技術　⑥抵抗性品種栽培・台木利用技術
⑦ 土壌還元消毒技術　⑧熱利用土壌消毒技術
⑨ 光利用技術　⑩被覆栽培技術
⑪ フェロモン剤利用技術　⑫マルチ栽培技術
⑬ 天然物質由来農薬等利用技術
⑭ その他　試験研究機関等で開発された技術

【化学肥料削減技術】

① 局所施肥
② 肥効調節型肥料施肥
③ 有機質肥料施肥
④ その他
試験研究機関等で
開発された技術

【土づくりの技術】

① 堆肥施用
② 緑肥作物利用
③ その他　試験研究機関等で開発された技術

＊1 農産物名	認証区分	＊1 作型 露地／施設	作付面積 (a)	栽培期間	土づくりの技術 ＊2 番号	土づくりの技術 ＊3 有機質資材等使用量(kg/10a)	化学合成農薬削減の技術 ＊2 番号	化学合成農薬削減の技術 ＊3 化学合成農薬使用回数（回）	化学肥料削減の技術 ＊2 番号	化学肥料削減の技術 ＊3 化学肥料施用量（窒素成分kg/10a）	目標収量 (kg/10a)
ホウレンソウ	① 25 ・ ② 50	春～初秋まき 露地／施設	5	4月～5月	②		⑩	4	③	10.5	1,000
		土づくりの技術 具体的内容			緑肥の使用						
		化学合成農薬削減の技術 具体的内容			施設開口部に防虫ネットを展張し、害虫の侵入を防止						
		化学肥料削減の技術 具体的内容			有機質肥料（ナタネ油粕）を施用						
キャベツ	① 25 ・ ② 50 ・ ③100	秋まき初夏どり 露地／施設	5	11月～6月	①	1,000	④ ⑪	12	①	7.5	4,000
		土づくりの技術 具体的内容			牛ふん堆肥の施用						
		化学合成農薬削減の技術 具体的内容			④ＢＴ剤をローテーション散布に組み込む ⑪フェロモン剤により交尾阻害を図る						
		化学肥料削減の技術 具体的内容			条施肥を行なう						

該当する認証区分に「○」

導入した技術を具体的に記入する

**申請者が予定している
堆肥等、有機質資材の使用量、
化学合成農薬の使用回数
化学肥料の施用量を 記入する
※別表2の上限値を超えないこと**

**栽培期間は在圃期間（本圃に播種・定植してから収穫終了まで）
＝育苗期間、仮植期間は含まない
ただしウドは根株養成期間を含む
※アシタバ、アスパラガス等複数年にわたって収穫する野菜、
およびパッションフルーツを除く果樹、食用つばき、茶は記入不要**

**農産物名、及び作型は別表2を参照
露地/施設のいずれかに「○」**